

によど川

仁淀川町広報

2011
12月号

掛水勇宏さんフラインググライダーで全国一位
健康福祉大会に200人
川尻八所神社で花鳥踊り
町有財産の譲渡について



長者出張所が一日映画館に

10月21日 第61回高知県芸術祭事業として「仁淀川町映画シアター」が長者出張所で開催され、約50人の来場がありました。

上映された「書道ガールズ!!わたしたちの甲子園」は、不況のため活気のなくなった町を元気にしようと「書道パフォーマンス」に挑戦する高校生たちを描いた愛媛県四国中央市で実際にあった話です。作品を見終えた方は「この地域で映画が見られるのが嬉しい」「面白かった」「みんなで一緒に笑いと感動を共有できた」と喜んでいました。

仁淀川町シアターに50人



上映直前、ドキドキの会場

全国障害者スポーツ大会

10月22日・23日 山口県

で開催された第十一回全国障害者スポーツ大会に、長坂の掛水勇宏さん(37歳)がフライングディスク競技の高知県代表として出場し、アキュラシーの部で見事準優勝しました。

この大会は障害のある選手が競技などを通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を促進することを目的として開催される障害者スポーツの全国的な祭典です。掛水さんはデistanスの部にも出場し、こちらも七位と好成績を収めています。

勤務先のさくら福祉事業所越知分場「どんぐり」で、毎日三十分ほどの練習をしているという掛水さん。「良い成績を残せて良かった」と喜びを語ってくれました。

フライングディスク

樹脂製で直径23.5cm、100±5gの円形のディスクを使って競技します。

5mもしくは7m離れた円形のゴールに向かい10投して、その通過枚数でスローの正確さを競う「アキュラシー」と、3投して飛距離を競う「デistanス」の2種目があります。

掛水勇宏さんの成績

- ・アキュラシー(5投) 7投通過 279人中2位
- ・デistanス(スタンディング) 21投42センチ 260人中7位



銀メダルを手に笑顔の掛水さん

掛水勇宏さんフライングディスクで準優勝

仁淀川流域が同日一斉清掃

10月22日 仁淀川の清流を守り、川に親しんでもらおうと仁淀川流域一斉清掃が行われました。この催しは、これまで別々の日に行われていた清掃活動を、流域の市町村が協力し今年度初めて仁淀川の上流から下流まで一体となって行ったものです。

上流の仁淀川町では、北浦ふれあい公園周辺の清掃活動が行われました。前日の激しい雨で開催が危ぶまれましたが、朝方には雨も上がり、約八十人の方が参加してくれました。九時から十時までの短い時間ではありましたが、空き缶やビニールなど合計で百四十五kgのゴミが集まりました。



開会で説明を聞く参加者

健康福祉大会に200人

午後からは、NPO東濃
成年後見センター理事長で
作家の渡辺哲雄さんに「老
いの風景」をテーマに「死
ぬこと・愛すること」と
題して講演していただきま
した。自身の祖母との思い
出を中心とした「介護」や
「老い」についてのお話に
心を打たれ、参加者らは時
に笑い、時に涙しながら聞
き入っていました。

大会では、地域福祉の向上の
ため、長年にわたり精励してき
た民生委員・児童委員に対す
る厚生労働大臣特別表彰の伝達
や、町長や大会長からの感謝状
の贈呈が行われました。
また、東日本大震災の被災地
で、復興活動に携わった町役場
職員、町社会福祉協議会職員か
ら、体験談や被災地から学んだ
ことなど、写真を交えての発表
がありました。

10月27日 池川体育館で第七回
健康福祉大会（主催・仁淀川町、
仁淀川町社会福祉協議会）が開
催され、福祉関係者やボランテ
ィアの方々と約二百人が参加し
ました。

みんな生き生き支え合うまちへ

表彰および感謝状を受けられた皆さん

◇厚生労働大臣特別表彰

前民生委員児童委員 中内 福富（椿山）

◇町長感謝状

黒川 照明（見ノ越）

◇大会長感謝状

ふれあいサロン『くき百菜クラブ』
寺野地区



渡辺さんの講演に聞き入る
参加者ら

藤原花恵さん大崎小の東北支援バザーに感銘し募金活動

大崎の藤原花恵さん（80歳）は、東日本大震災の惨状に心を痛め、以前から「東北の人のために何かしてあげたい」と考えていましたが、体調のこともあり何もできないまま過ごしていたそうです。

11月に大崎小学校から届いた復興支援チャリティーバザーのお知らせを見て「よし、やってみよう」と募金活動を始めました。

自宅近隣の方や知人らの家に貯金箱を持ってお願いに行ったり、道行く人に趣旨を説明して募金してもらったりしたそうです。時には自宅横の金光鉄工（株）の事務所に、名前を告げずにお金を置いていってくれた人もいたとか。

温かい善意をありがとう

そうして集まった募金総額55,388円は、大崎小学校に全額届け、チャリティーバザーの収益と一緒に、東北の子どもたちのために使われる予定です。

藤原さんは「快く募金に賛同してくれた方、名を告げずに募金を置いてくださった方、皆さん本当にありがとうございました」と感謝していました。



「皆さんありがとう」



園児たちも熱心に鑑賞中

また、四季のまつり写真コンテストの入賞作品も展示され、訪れた人たちは足を止めて、臨場感あふれる写真に見入っていました。

文化祭には子どもから大人まで幅広い世代から、習字や絵、工芸品などたくさんの方の力作が出品されました。

仁淀文化祭に450人

10月29日～11月1日 森の

農業者トレーニングセンタ

ーで仁淀文化祭が開催さ

れ、四日間で約四百五十人

が来場しました。

文化祭には子どもから大人まで幅広い世代から、習字や絵、工芸品などたくさんの方の力作が出品されました。

また、四季のまつり写真コンテストの入賞作品も展示され、訪れた人たちは足を止めて、臨場感あふれる写真に見入っていました。